

# フランス演劇はなぜ歌と踊りを排除したのか？ ～「優美」の演技論と「演劇」という制度

登壇者：横山義志会員

「演劇」というと歌や踊りを排除した舞台を思い浮かべるようになったのはなぜでしょうか。古代ギリシア・ローマの演劇には歌も踊りもあったのに、近代フランスではなぜか「演劇」が非音楽劇として制度化されました。この過程で、「優美grâce」という概念が重要な役割を負うことになりました。

「優美」はアルカイック時代のギリシアでは歌や踊りの魅力を表す概念だったのに、18世紀フランスに至るまでに歌や踊りのない演技の魅力を表す概念へと変容していき、やがて「自然さ」という概念に置き換えられていくことになります。

昨年刊行された著書 *La grâce et l'art du comédien. Pourquoi le théâtre a-t-il exclu le chant et la danse ?* (『優美と俳優術 演劇はなぜ歌と踊りを排除したのか』, Classiques Garnier) の内容の一部を、フランス演劇に興味をお持ちの方に向けてご紹介いたします。



## 【登壇者プロフィール】

横山義志 よこやま・よしじ

SPAC-静岡県舞台芸術センター文芸部、学習院大学等非常勤講師、舞台芸術制作者オープンネットワーク (ON-PAM) 理事。

1977年生まれ。パリ第10大学演劇科で博士号取得。SPACでは主に海外招聘プログラムを担当し、30カ国以上を視察。2017年から2023年までアジア・プロデューサーズ・プラットフォーム (APP) プランニングチームメンバー。2018年から2024年まで東京芸術祭でディレクターを務める。次代の舞台芸術の枠組みを考えるため、西洋演技論史を執筆中。

**【日時】** 2025年6月15日 (日) 15:30～17:00 (日仏演劇協会総会 開催後)**【場所】** 明治学院大学 白金キャンパス 2号館2301教室

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

品川駅から 都営バス「目黒駅前」行きに乗り、「明治学院前」下車(乗車約6分)

目黒駅から 都営バス「大井競馬場前」行きに乗り、「明治学院前」下車(乗車約6分)

白金台駅 徒歩約7分 白金高輪駅 徒歩約7分

高輪台駅 徒歩約7分 高輪ゲートウェイ駅 徒歩約13分

**【申し込み】** 不要。直接会場へお越しください。

オンラインでご参加の場合は、URLよりご登録ください。

<https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/Sc7dbEguS5WHNMup81hmjw>**【参加費】** 無料**【問い合わせ】** 日仏演劇協会事務局 (office [at] sfjt.sakura.ne.jp)